

— Rotary Opens Opportunities —



# OSAKA ROTARY CLUB

## Weekly Bulletin

創立 大正11年(1922)11月17日 ◆復刊週報第1号発行 昭和24年(1949)4月  
 事務所 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル内 Phone 06-6448-1121  
 URL <http://www.osaka-rc.org/> E-mail [secretariat@osaka-rc.org](mailto:secretariat@osaka-rc.org)

例会 毎週金曜日 12時15分 リーガロイヤルホテル  
 会長 堀 正二 幹事 江藤 克二 クラブ会報委員長 藤井 達郎

2020～21年度

国際ロータリー会長  
Holger Knaack国際ロータリー 第2660地区  
ガバナー 簡 仁一

2020年10月9日(金) (第4,767回)例会

### Maas (Mobility as a Service) の取り組み

西日本旅客鉄道(株)  
 総合企画本部 MaaS 推進部  
 MaaS 企画室長

神田 隆氏

皆様、「MaaS(マース)」という言葉に耳に  
 なされたことはありますか。「Mobility as a  
 Service」の頭文字をとった言葉です。直訳  
 すると「移動を一つのサービスとしてとら  
 える」という意味合いですが、よく分からな  
 いという方も多いのではないかと思います。  
 本日はMaaSがどのようなものかというこ  
 と、当社がMaaSを重要と考えている理由  
 についてお話しします。

#### ◇移動の予約や支払いがスマホ1つで◇

まず、「MaaSとは何か」です。例えば東京  
 に皆様が出張される場合、新幹線や飛行機を  
 使うことが多いと思います。ご自宅や職場から  
 駅や空港に行かれる際には何らかの交通



手段を使う必要がありますし、東京の駅や空  
 港に着いてからも同じです。観光旅行の場合  
 でも、目的地の最寄り駅から観光施設まで  
 は何らかの交通手段を使って行かれると思  
 います。

このように出発地から目的地までの複数の  
 移動のサービスを一つにまとめて考えよう  
 というのがMaaSです。JR西日本は鉄道とい  
 う移動サービスを提供していますが、MaaSの  
 想定はそれより広い範囲のものです。

では、一体何が「一つのサービス」と位置  
 づけられるのでしょうか。今度は出張の手配  
 をされる場面をご想像ください。ご自宅から  
 例えば新大阪駅までタクシーに乗られる際、  
 配車のための電話がまず必要です。駅に着  
 いたらタクシー代を支払う。さらに、新幹線  
 の切符を買うためにまた支払いが発生します。

10月30日(金)はクラブ定款による休会

11月6日(金) (第4,770回例会)の卓話

ロータリー財団月間記念例会

会 員・パストガバナー

立野 純三君

「財団寄付と補助金モデル」

(プログラム担当 ロータリー財団委員会)

次回11月13日(金)の卓話

在堺チェコ共和国名誉領事館  
(元当クラブ受入れ米山奨学生)

スザンカ・ハニバロヴァー 氏

「ボーダー無き心

～米山奨学生から外交官へ～

四つのテスト I 真実かどうか? II みんなに公正か? III 好意と友情を深めるか? IV みんなのためになるかどうか?

東京駅に着き、目的地までタクシーで向かうと、ここでもタクシー代を支払います。

こういったタクシーの予約や代金の支払い、新幹線や飛行機などのチケットの購入が全てスマートフォンアプリ1つでできる状態を「一つのサービス」と考えています。

こういう仕組みがあれば移動の手配が便利になることはご理解いただけるとは思いますが、MaaSにはそれ以外にも効果があります。

#### ◇JR西日本は2つのサービス開始◇

例えば旅行や出張の最中に急に予定が変更になったり、タクシーで交通渋滞にはまったり、新幹線が遅れたり、移動中には様々なトラブルが想定されます。MaaSでは列車の遅れなどの情報が自動的に流れてきて、予約を一括で変更できる。渋滞なら代わりのルートを案内してくれる。食事やテーマパークの予約もできる。スマホアプリ1つで生活全てを完結するような可能性もあります。

まだまだそういった段階には遠いのですが、JR西日本はこのたび、2つのMaaSのサービスを始めました。1つは観光客向けの「setowa(セトワ)」。もう一つは、通勤・通学や買い物といった日常利用のお客様向けの「WESTER(ウエスター)」です。

WESTERは9月からアプリをリリースしています。自宅や会社の最寄り駅を「マイ駅」として自由に設定でき、電車の時刻表や遅れ、駅の混雑状況を表示したり、当社グループの駅ナカの店舗中心にクーポンを提供したりというような機能があります。

観光型のsetowaは、広島県を中心とした瀬戸内エリアで10月からJRグループが主催する「せとうち広島デスティネーションキャンペーン」に合わせてサービスを開始しました。行きたい観光地までの経路検索結果がそのまま、予約の画面に連携するので予約がしやすい。周辺エリアも幅広く周遊していただける「setowa周遊パス」、観光施設やグルメなどのチケットを予約・決済できる「setowaチケット」も多数発売しています。

MaaSは観光に携わる行政の方々にとってもメリットがあります。例えば原爆ドームや宮島といった定番の観光地だけでなく周辺の

良い観光地をおすすめすれば、地元にとってもお客様に来ていただくチャンスが増え、地域の活性化につながると思います。

また、デジタルで予約・購入がなされることで、性別や年代といったお客様の属性がよりスムーズに把握できます。よりターゲットを絞ったサービスにつながるのではないかと考えております。われわれ交通事業者にとっても、ご利用いただいている何十万人、何百万人の人がどういうニーズをお持ちかということ把握する、いわゆるOne to Oneマーケティングが現実的になってくるのではないかと考えています。われわれの業界以外でも、自動車メーカー、航空会社、バス会社など様々な事業者が取り組んでいます。

#### ◇「新たな移動様式」をサポート◇

当社の事業エリアは北陸から九州まで2府16県にわたり、その中には大都市から過疎地まで様々なエリアがあります。都市部では交通渋滞、過疎地では公共交通の利用減など、それぞれ特有の課題があります。こうした課題をMaaSを通じたデータの活用によって解決するだけでなく、観光など移動の目的と組み合わせることでお客様の増加を図る手段として当社もMaaSを重要と考えています。

昨今の新型コロナウイルスに伴い、われわれ交通業界全体にとって先が見えない状態が続いています。そのような中ではありますが、MaaSを通じてスマートフォン1つで旅行や出張を手配でき、チケットレス、キャッシュレスで移動できることは、人との接触を避けるという意味で「新たな移動様式」とも言えるのではないかと感じています。ある意味、一層必要性が高まっているのではないかと感じています。

航空会社も含めた交通事業者が広く連携することはもちろん、地域の皆様とも連携を強め、移動の促進に取り組んでいきたいと思っています。(スライド・映像とともに)

---

卓話者紹介：1971年大阪市生まれ。'94年東京大学法学部卒業、同年西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)入社。営業本部、総合企画本部を経て、2015年広島支社営業課長、'19年新設のMaaS企画室長となり、現在に至る。

## ◇ 例 会 記 録 ◇

国内ゲスト 1名  
 神田 隆氏 クラブゲスト:本日のスピーカー  
 出席会員 171名※(内3名免除会員)  
 ※特別出席規定免除申し出会員含む  
 欠席会員 63名  
 出席規定免除会員 28名  
 会員総数 259名 出席率 73.08%  
 前々例会(9月25日)の補正出席率 78.84%  
 本日のプログラム司会:井上 浩一君



### Niko-Niko Box

井上 浩一君(不動産経営)  
 神田さんの卓話を楽しみにしています;  
 荻野 浩平君(建設)  
 神田隆様の卓話によりMaaSの認識度が上がることに期待して;  
 廣田 康人君(運動具製造)  
 上田S.A.A.の視線に吸い寄せられました;



### 【みおつくし奨学金】

(宮古との奨学金制度にのみ使います)

Aテーブルミーティング出席者一同(10/8(木)オンライン)  
 テーブルミーティングを、初めてオンライン  
 で開催しました。7名の参加を得て、大阪の  
 歴史、文化、伝統を今に伝える町並み、建物  
 などを中心に話が盛り上がりました;  
 生塩 之敬君(外科医)  
 いきなり藤木副S.A.A.と目が合いました!;  
 新居 勇子君(航空運輸業)  
 理事会欠席のお詫び;

## ◇ Club News ◇

### 委員会等

歴代会長懇談会 10月9日  
 謡曲 10月9日  
 地区公共イメージ向上並びに  
 クラブビジョン策定セミナー 10月10日  
 ローターアクト第1回地区献血 10月11日  
 G&Sテーブルミーティング(オンライン)  
 10月12日  
 Kテーブルミーティング(オンライン) 10月12日  
 Bテーブルミーティング(オンライン) 10月13日  
 Qテーブルミーティング(オンライン) 10月14日

100周年

創立100周年記念式典・祝賀会  
 2022年11月18日(金)夕刻  
 於:リーガロイヤルホテル

## ◇ Members News ◇

### 今週のHappy Birthday!

石原 福造君(協会・団体)	10月26日
井上 浩一君(不動産経営)	10月27日
平岡 龍人君(教 育)	10月28日
岡本 修君(機械・装置製造)	10月30日
生塩 之敬君(外 科 医)	11月1日
山本 章弘君(文 化)	11月1日
松本 鐵一君(寝具販売)	11月4日
宮本 又郎君(研究・教育)	11月4日
廣田 康人君(運動具製造)	11月5日

### 京阪神3RC連絡懇談会

(2020.9.25(金)17:00~オンライン)

今年度初めての表記会合は、コロナ対策のためZoomを活用したオンライン会合で大阪RCがホストとなり実施しました。

当クラブ堀会長のご挨拶のあと、参加者全員の自己紹介からスタート。その後、まず大阪から私が9/1時点での会員数が259名と今年度に入り7名増であること、昨年度の出席率は「コロナ特別出席規定免除者」を含めて76.5%であったことなどを報告。

京都RC富田幹事からは、現時点の会員数が201名であること、昨年度の例会は3月から休会し最終の6/24のみ開催、出席率は出席規定適用免除会員を除いてほぼ99%であったこと、また10/7には95周年記念式典を開催するが、昼の例会に式典を加えて内輪のみでの開催にすると報告があった。

神戸RC松岡幹事からは、現会員数は2名減の158名で、昨年度出席率は3月から6月1週までを休会とし、6月はカウントをせず約89%であったとの報告。

その後、各クラブからコロナ禍での例会開催状況の報告があり、京都RCはビジターなし、座席はスクール形式で1mずつあけ、弁当を出している。例会以外のクラブ活動もゴルフのみ再開したとのこと。神戸は、ビジターも受け入れており、座席を各テーブル5名掛けにしているのみで他は平常通り開催、例会以外はゴルフのみ実施しているとのことであった。次回は来年2~3月頃に京都RCホストで開催の予定。(幹事 江藤 克二)

〈出席〉吉川、堀正、佐川、鳥井、嘉納、江藤 6名、  
 京都RC3名、神戸RC3名 計12名

## 10月度定例理事会

日 時：2020年10月2日(金) 11:30～12:00

場 所：ホテル西館2階「梅の間」

### 協議・承認事項

- 1) 新会員選考(入会承認1名, 新規選考1名)
- 2) 新入会員に委員委嘱(入会時掲載)
- 3) 新型コロナウイルス対策「特別出席規定適用免除」10～12月まで適用を延長する  
・テーブルミーティングはオンラインのみ
- 4) 2017年度IM6組ロータリーデーその後継続事業としての関西経済同友会主催「絵画展」について(協賛10万円承認)  
来年2月開催の絵画展への団体での鑑賞会は控える(会期:2021/1/30～2/14)
- 5) 2022年規定審議会で審議される制定案件につき規定委員会に回付(後日報告)
- 6) 「My ROTARY」アカウント登録について今年度には登録率UPを図りたい

### 報告事項

- 1) ロータリー財団月間記念例会(11/6(金))  
立野PG卓話「財団寄付と補助金モデル」  
節約メニュー(クラブ扱いポリオ寄付)
- 2) クラブ創立98周年記念家族会準備状況
- 3) 本年度2660地区・地区大会  
(12/12(土)1日午後のみ開催に変更)
- 4) 2021～22吉川ガバナー年度の地区行事の件  
・地区チーム研修セミナー(3/13(土)午前)  
・会長エレクト研修セミナー(PETS)(3/13(土)午後)  
・地区研修・協議会(3/13(土)PETSと合同)  
・地区大会(12月予定)
- 5) 9月度R財団・米山寄付報告(掲載済)  
及びニコニコ箱7～9月実績報告
- 6) 11月度例会卓話プログラム報告(掲載済)
- 7) 赤い羽根募金(掲載済)

〈出席〉堀正, 鳥井, 佐川, 松岡, 薩摩, 塩野, 佐々木, 笹倉, 小原, 山道, 上田, 藤木, 黒田雅, 嘉納治, 江藤, 吉本(オブザーバー) 16名

### 会長の話⑧一堀 正二会長

#### 「スペイン風邪 その1」

スペイン風邪(インフルエンザ)は、今から100年前、1918年～'20年の第一次世界大戦の時期に、新型コロナウイルス感染症とよく似た大流行をし、多くの死者を出しました。まず、アフリカのドイツ植民地が英仏連合軍によって占領され、アフリカ人が戦闘に参加、

食糧や人の移動に伴って南アフリカに蔓延し、鉄道と河川に沿って広がっていったのです。さらに、インドでも猛威を振るい、飢餓がそれに追い打ちをかけました。

アメリカも遅れて英仏連合軍に参加し、ヨーロッパ戦線で兵士が感染してアメリカにウイルスを持ち帰ったために一挙に感染が広がりました。このように全世界に拡散したにも拘らず、第一次世界大戦中だったため、情報は抑えられましたが、当時スペインは中立国であったために、積極的にスペインから情報が発信されたのです。そのため、「スペイン風邪」の名前が付いたものと考えられています。

当時の世界人口は約18億人、少なくともその1/3から半数が感染し、死亡率は世界人口の3～5%と推定。全世界で5,000万人の死者を出したのです。今回の新型コロナウイルス感染症は今のところ、死者は全世界で100万人ですから、収束までに2倍の死者が出るとしても200万人。スペイン風邪は、その30倍の死者を出したのです。日本の死者数は、内地で45万人、樺太、朝鮮、台湾などを含めると75万人もの犠牲者が出ています。

スペイン風邪は、日本に3回起きています。第1波は1918(大正7)年5～7月で、この時あまり死者は出ず「春の先触れ」と呼ばれています。同年10月になりヨーロッパ戦線で流行していた毒性の強いスペイン風邪ウイルスが日本に上陸し、軍隊や学校を中心に大流行が始まりました。これが第2波の始まりです。11月には最も猛威を振るい学校の休校や交通障害などが発生、死者は'19年1月に集中し火葬場が大混雑したようです。2月の新聞には「入院お断り。医者も看護師も総倒れ」という見出しで医療崩壊が起こっていた様子を報道しています。第3波は'19(大正8)年12月～翌年5月で、「後流行」と呼ばれ、19万人の死者が出ました。後流行では、患者数は少なかったのですが、死亡率は今回の新型コロナウイルス感染症とほぼ同じで5%が亡くなりました。

このように、インフルエンザは決して1年で終わらず、流行を繰り返し、その内容も変えていることがわかります。スペイン風邪からの教訓は、第2波、第3波の流行の可能性があること、ウイルスは変異してその毒性を強める可能性があるということです。

(2020年9月25日(金)例会)